

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより からまつ No.17

令和2年12月15日発行 校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子
徳 心豊かで思いやりのある子
体 進んでやりぬくたくましい子

エール

太田 等

今月4日。学芸参観日を開催しました。コロナ禍になって初めての校内での催しです。感染防止のため、席と席の間を空けたり、各学級の発表が終わるごとに椅子の消毒や換気をしながらの開催となりました。内容は主に歌や器楽合奏でした。「1.2年生は、元気で可愛らしく」「3.4年生は、はきはきとしっかり」「5.6年生は、力強く堂々と格好よく」など、子どもたちは、それぞれの自分の役割を精一杯表現していました。また、25分という短い演出時間の工夫により、各学級での持ち味がとてもよく引き出されていました。こうした子どもたちの姿をご覧になって、コロナ禍による自粛等の疲れを癒されたり、子どもの成長をしみじみと感じたりした方も多かったのではないかと思います。また、子どもたちにとっては、久しぶりに受けた保護者からの拍手に、大きな達成感と喜びを感じていたことと思います。



こうした双方の「喜び」は、工夫によって可能となります。今、感染拡大の「地域による差」が広がり、新型コロナ自体の捉え方や感染防止への「意識の差」は、今後ますます広がっていくとされています。しかし、公衆衛生の観点からは、「命を守る」ことが全ての基本とされています。特に感染リスクを恐れ過ぎるあまり、全く家の外に出なかったり、人と合わなかったり、会話をしなかったりするなど、人とのつながりが希薄になることが懸念されています。

人は、人とのつながりの中で生きる意味を見出します。他者との多様なつながりのある人は免疫力が高いことも様々な研究で証明されています。また、つながっていれば、正しい情報に接する機会も多くなります。こうしたことから、コロナ禍にあっても、感染防止対策を徹底しながら、周囲や家族、地域の人との「つながり」を大切に、広げていくことが、「命を守る」感染症対策の社会的基盤になるそうです。社会・経済活動の維持も「命を守る」ことであり、「感染防止」と「経済」のどちらをとるのかという二者択一ではないと言われるように、不安や恐怖心があると、ややもすると感染の確率を「0」か「100」かの二択という偏った考え方になってしまいがちです。ゼロリスクを求めるわけでもなく、リスクを無視するわけでもなく、自分の命も他人の命も守るという視点を持つという考え方がこれからの時代を生きる上でとても大切とされています。

コロナという未曾有の試練に直面する中、多くの方が心からの励ましを求めているとも言われます。目の前の一人をどう励ますか、との一点に知恵を湧かせ、工夫を重ねるという道徳性のある利他の生き方の重要性が、コロナによって問い直されています。今自分のいる場所で、周囲の人に温かいエールを発信できるようになることも教育活動で目指すべき姿です。

12月も中旬となり、冬の寒さが少しずつ厳しさを増してきました。

こうした時期でも校舎内では、「おはようございます!」「さようなら!」「〇〇くん(さん)、とても上手だったね」「見てる 見てる」という子ども達や教職員の心を開く言葉や賞賛の声がよく聞こえてきます。その声(エール)が、学校の安心と安全の温かな空気と「命を守る」基盤を創り出しています。

12/4学芸参観日

今年度はコロナ禍の影響で、学芸参観日という形で行いました。この日に向けて全校児童が器楽などの演目に全力を出して取り組みました。当日は練習以上の頑張りを全校児童30名ひとりひとりが見せてくれました。また、当日は たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちに温かい声援と労いの拍手を頂きました。ありがとうございました。

低学年の部



- 1.はじめのあいさつ
- 2.あ の あおい そらの ように
- 3.リズムであそぼう
- 4.ぶっかり くじら
- 5.こいぬのマーチ
- 6.せかいが ひとつに なるまで
- 7.しろくまの ジェンカ
- 8.おわりのあいさつ

中学年の部



- 1.これまでの学習してきたこと
- 2.魚新聞の発表
- 3.ミッキー・マウスマーチ
- 4.茶色の小瓶
- 5.愉快的な木琴
- 6.赤い屋根の家

新しいスタッフが着任しました



12月1日。保育園長を歴任した菅野笑子先生が、学習指導員として本校に来校しました。菅野先生には、現在おもに低学年の個に応じた学習の支援をしていただいております。

高学年の部



- 1.リボンのおどり ～ラ バンパ～
- 2.ラバース コンチェルト
- 3.ギャラクシー ～銀河をこえて～
- 4.世界がひとつになるまで
- 5.紅蓮華

1月行事予定

日	曜	主な行事	下校バス
1	金	元日 冬季休業7 学校閉庁日	
2	土	冬季休業8 学校閉庁日	
3	日	冬季休業9 学校閉庁日	
4	月	冬季休業10	
5	火	冬季休業11	
6	水	冬季休業12	
7	木	冬季休業13	
8	金	冬季休業14	
9	土	冬季休業15	
10	日	冬季休業16	
11	月	冬季休業17	
12	火	冬季休業18 職員会議 研修	
13	水	3学期始業式 バス乗車指導	14:40
14	木		14:40 15:35
15	金		14:40 15:35
16	土	週休日	
17	日	週休日	
18	月		14:40 15:35
19	火	全校朝会 学校訪問ブックトーク	14:40 15:35
20	水	研修	14:40
21	木	ALT 新聞の日 委員会活動日	14:40 15:35
22	金	白鳥号 カリム来校	14:40 15:35
23	土	週休日	
24	日	週休日	
25	月		14:40 15:35
26	火	全校朝会	14:40 15:35
27	水	研修日	14:40
28	木	ALT 別海町新聞の日	14:40 15:35
29	金	カリム来校	14:40 15:35
30	土	週休日	
31	日	週休日	